

第13回

# 包装材料セミナー

## —包装の接着技術について—

日時：平成30年1月26日(金)

会場：ソラシティカンファレンスセンター Room C

主催：公益社団法人日本包装技術協会

### ご参加のお勧め

近年包装材料には、多様化する消費者ニーズから、高機能化・高付加価値化・コスト競争力が求められ、単に内容物の保護だけでなく、加工性から使い勝手、廃棄性等総合的な性能が必要とされています。こうした状況に対応すべく、当会では、日々進化する包装材料の最新動向と今後の展開、業界情報等をご紹介します「包装材料セミナー」を開催しております。  
第13回目の今回は、包装の接着技術について、接着剤の概要と分類や特徴、加工についての基礎的な説明、最新の接着事例紹介、接着を活かす包装機械についての説明等の内容でプログラムを編成しております。  
どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

### プログラム

時間	講演内容	講師
9:50 ▼ 10:50	<p>◆『ラミネート用ポリウレタン接着剤』</p> <p>種々のフィルムを貼り合わせる軟包装材料は、食品や日用品だけでなく産業用品にまで多岐に渡って使用されている。フィルムを貼り合わせる、つまり、ラミネートするための接着剤は大半がポリウレタンである。ポリウレタン接着剤は水酸基を持つポリオール主剤とイソシアネート基を含有する硬化材の2液タイプとして用いられ、これらが反応して架橋構造を形成することにより接着性能を発現する。フィルムラミネート用にポリウレタン接着剤が用いられる理由は、①イソシアネート基の高活性により低温で硬化するため基材への熱ダメージが小さいこと、②原料種が豊富で軟包装材料に適した材料の設計ができること、③被着体の極性基と接着剤中のウレタン基とが水素結合することにより様々な被着体と強固に接着することである。今回は、ポリウレタンの概要について述べ、次いでラミネート用ポリウレタン接着剤の概要、分類と特徴、加工等について紹介する。</p>	<p>三井化学株式会社 研究開発本部 合成化学品研究所 ウレタン材料設計グループ 主任研究員 <b>安藤 一博 氏</b></p> <p>コーディネーター 凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 ビジネスイノベーションセンター 開発本部課長 香川 幸子 氏 (株)クラレ エパール事業部 エパール樹脂販売部 羽田 泰彦 氏</p>
11:00 ▼ 12:00	<p>◆『CO<sub>2</sub>発生量削減包材の開発』</p> <p>温室効果ガス削減の対策が急務とされる今日において、容器包装からのアプローチは非常に重要である。これまでは主に軽薄短小による包材使用量の削減やバイオマス素材の活用などが行われてきたが、これらはバリア性や中身保護、使用性といった包装機能の観点からすると限界が近づいている。そこで我々は、従来にない新たなアプローチとして、CO<sub>2</sub>削減剤、NVC(ナノベシクルカプセル:アクティブ(糊)製)に着目し、ここから「お客様ご使用後、廃棄され焼却の際に包材から発生する二酸化炭素量を抑制する包材」の開発に着手した。 今回は、この新たな発想からの環境貢献について、オープン&amp;リンクイノベーションで実施した開発事例を紹介する。</p>	<p>味の素株式会社 食品事業本部 食品研究所 包装設計グループ <b>谷阪 理子 氏</b></p> <p>サトーグリーンエンジニアリング株式会社 担当部長 <b>山室 博巳 氏</b></p> <p>コーディネーター (株)ロッテ マーケティング統括部 パッケージ・デザイン企画部パッケージ企画室 小垣 美津子 氏 アサヒ飲料(株) 生産部 生産グループ担当部長 長谷川 和夫 氏</p>
12:00▶12:50	◆昼食休憩・講師への質問用紙回収	
12:50▶13:20	◆講師への質問会	講師+コーディネーター
13:30 ▼ 14:30	<p>◆『デュボンのMylar® イージーピールフィルムについて』</p> <p>デュボン社は世界の環境変化に対応するための「食料の増産と確保」や高齢化などの社会構造の変化をメガトレンドとしたMylar®包装用フィルムの開発及びマーケティングを行ってきた。今回は耐熱性の高いイージーピールフィルムであるオフライン加工を中心としたMylar® OLシリーズやそのバリエーションのメリットや用途を紹介する。また、コスト競争力の高いポリエステル系シーラントである共押出フィルムのMylar®B50のメリットや用途を紹介する。</p>	<p>デュボン株式会社 フィルム事業部 部長 <b>半田 昌史 氏</b></p> <p>コーディネーター 東洋製罐(株) テクニカル本部 プラスチック技術部 加工技術グループ 主査 山口 裕司 氏 雪印メグミルク(株) ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室 山本 祐也 氏</p>
14:40 ▼ 15:40	<p>◆『接着技術と包装機械』</p> <p>包装にはその包材に適した接着技術があり、それぞれの包装の目的に合わせて応用されている。そして包装機械にはそれらの接着技術をさらに活かすための様々な工夫がなされている。 これらを整理して紹介することで、包装の接着技術に関する知識を深める。</p>	<p>大森機械工業株式会社 執行役員 <b>一岡 幹朗 氏</b></p> <p>コーディネーター ユニチカ(株) 包装フィルム営業部 市場開発グループ グループ長 桑田 秀樹 氏 マースジャパンリミテッド アジア太平洋地域研究開発部 パッケージマネージャー 大橋 敬史 氏</p>
15:40▶16:00	◆休憩・講師への質問用紙回収	
16:00▶16:30	◆講師への質問会	講師+コーディネーター

## 講師のご紹介

### 安藤 一博 氏

三井化学株式会社 研究開発本部  
合成化学品研究所 ウレタン材料設計グループ  
主任研究員

【ご略歴】  
2005年4月 三井化学株式会社入社  
アクリルエマルジョン、ポリウレタンの開発に従事し現在に至る

### 谷阪 理子 氏

味の素株式会社 食品事業本部  
食品研究所 包装設計グループ

【ご略歴】  
2006年味の素株式会社入社、食品包装や医療食の包装設計、包材開発等に従事

### 山室 博巳 氏

サトーグリーンエンジニアリング株式会社  
担当部長

【ご略歴】  
1971年 中央大学 理工学部 物理学科  
1971-1997年 凸版印刷株式会社 入社  
1997-2013年 サトーホールディングス株式会社  
2013年より サトーグリーンエンジニアリング株式会社  
ラベル印刷・加工・開発で多くの実績を上げ、現在はエコナノ製品の開発に従事

### 半田 昌史 氏

デュボン株式会社  
フィルム事業部 部長

【ご略歴】  
1998年2月 デュボン株式会社 フィルム事業部 開発  
リーダー(新規用途開発 PEN包装含む)  
2000年1月 同上 工業用PENフィルム販売課  
リーダー  
2005年4月 同上 フィルム販売第2部 課長  
2011年4月 同上 機能性フィルム販売部 課長  
2013年4月 帝人デュボンフィルム株式会社  
フィルム販売第2部 部長  
2016年2月1日-現在 デュボン株式会社 フィルム事業部 部長

### 一岡 幹朗 氏

大森機械工業株式会社  
執行役員

【ご略歴】  
1958年 兵庫県生まれ  
1981年 大阪大学 工学部 機械工学科  
卒業  
同年 大日本印刷株式会社入社後、34  
年間包装開発業務に携わる  
2015年 技術士資格取得 同社退社  
同年 大森機械工業株式会社 入社  
現在に至る  
有資格:技術士(経営工学)

## 開催要領

日時:平成30年1月26日(金)

会場:[ソラシティカンファレンスセンター Room C]

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ

参加費:会員20,520円(消費税8%、テキスト代含む)

\*同時に3名以上でお申込みの場合には

割引価格として1名16,740円

一般28,080円(消費税8%、テキスト代含む)

定員:100名

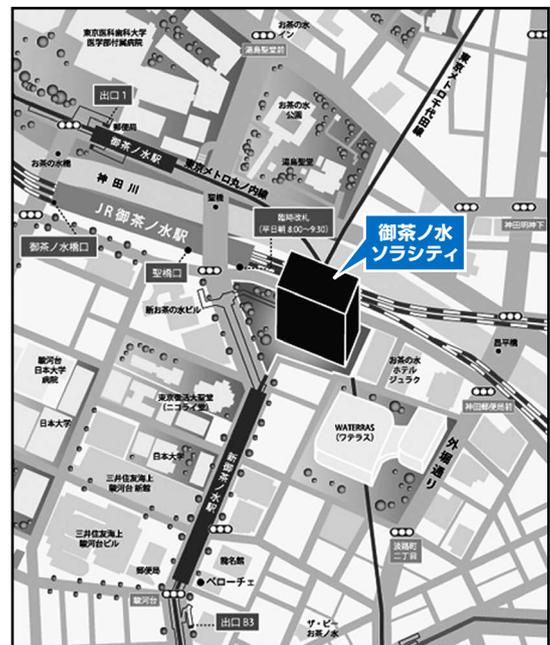
## 会場案内図

### ソラシティカンファレンスセンター Room C

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ

### 最寄駅のご案内

- JR中央線・総武線「御茶ノ水」駅 聖橋口から徒歩1分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B2出口[直結]
- 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 出口1から徒歩4分
- 都営地下鉄新宿線「小川町」駅 B3出口から徒歩6分



## お申し込み方法

■本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

協会HPからのお申込みも出来ます。

協会HP:<http://www.jpi.or.jp>

■申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。

■開催1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。申込みされた方がご都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。

(当日、名刺をご提出いただきます。)

## お問い合わせ並びにお申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 包装材料セミナー係

担当:竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970

e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

### 【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第13回包装材料セミナー」の事業実施に関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

## 第13回包装材料セミナー(1月26日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内 行 FAX.03(3543)8970 No.

会社名					
所在地	(〒 )				
電話			FAX		
参加者名	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	